



9 統合失調症

9 気分障害

9 てんかん

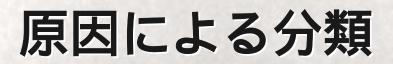
9 神経症

schizophrenia

mood disorder

epilepsy

neurosis



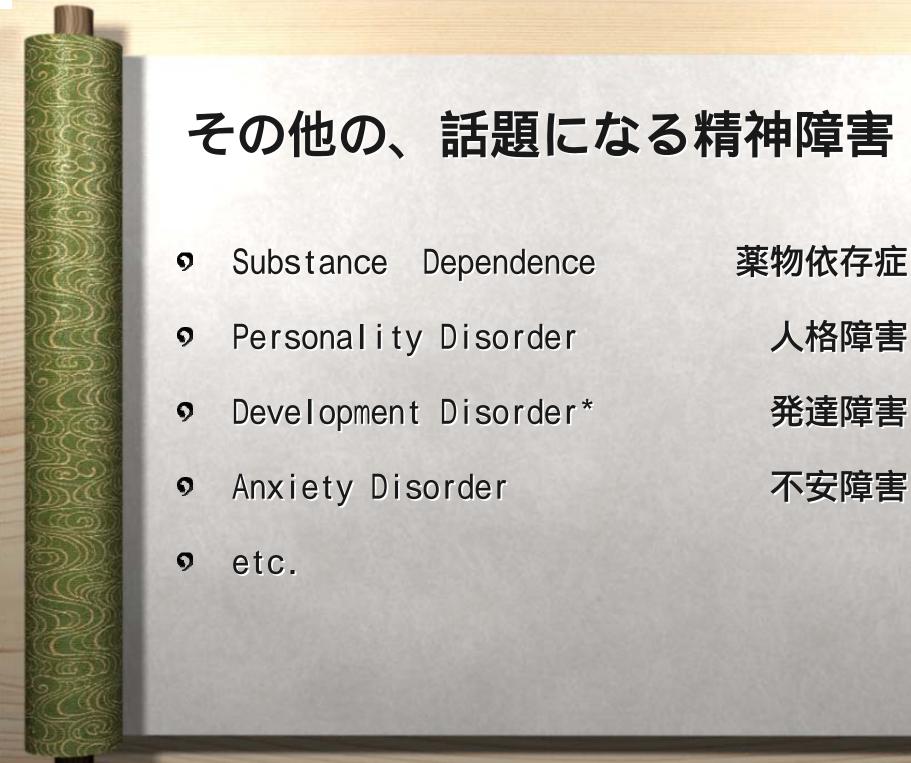
9 内因性精神障害 統合失調症・躁うつ病など

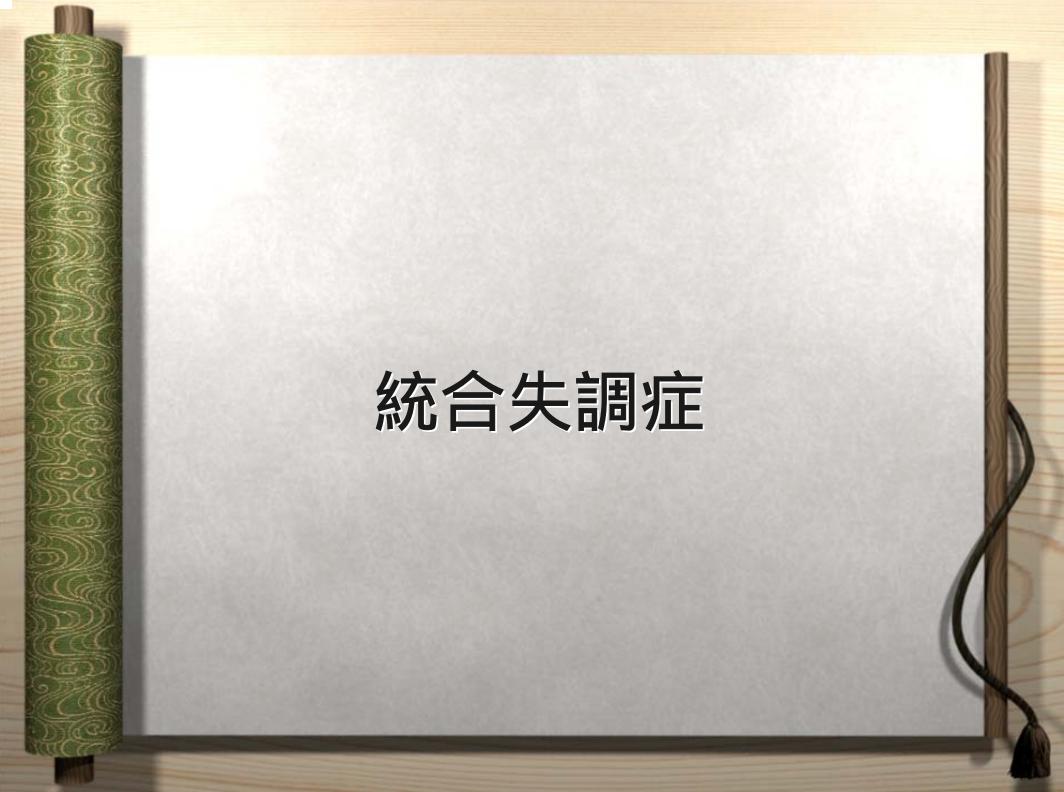
9 心因性精神障害

神経症・PTSDなど

9 外因性精神障害

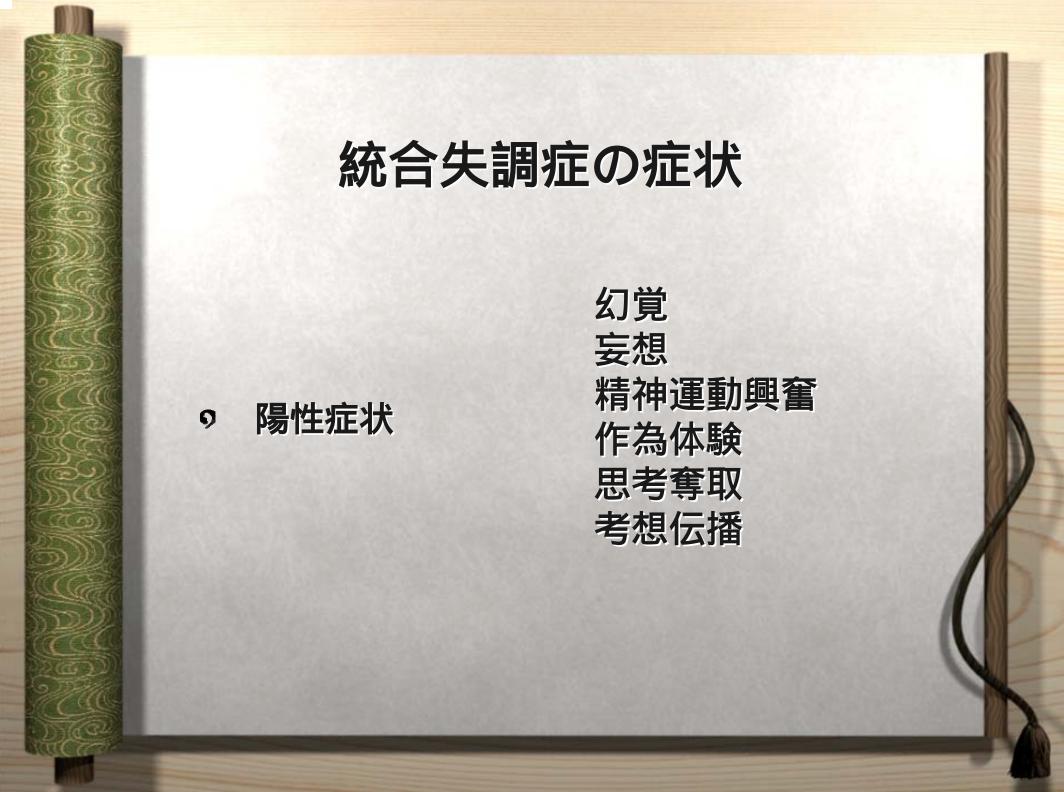
アルコール依存症など

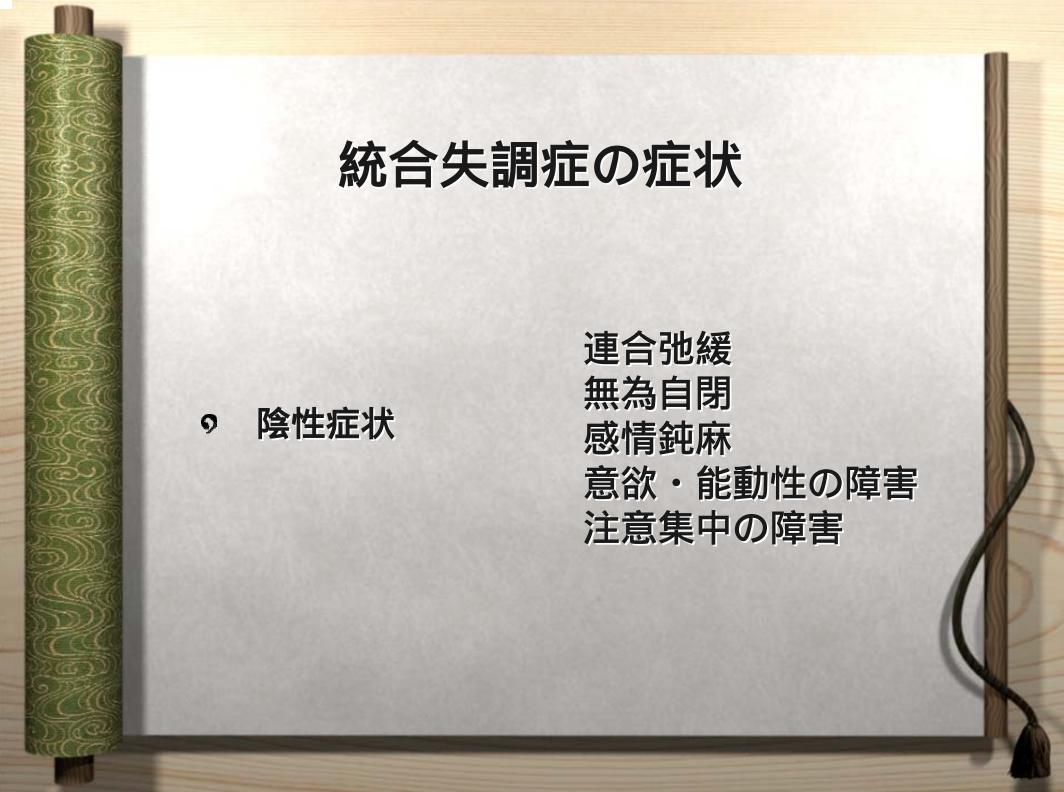




統合失調症の疫学

- 9 障害有病率は0.85、120人に1人くらい
- 9 15~30歳で発症することが多い
- 9 男女差はない
- 9 慢性進行性に経過する
- 9 治療により1/4が完全寛解、3/4は軽快する





統合失調症の亜型 妄想型 解体型 緊張型 鑑別不能型 残遺型 DSM分類による

統合失調症の経過

- 9 **急性期**:陽性症状か前景となり、様々なトラフルか生しる。多くはこの時に治療に訪れる。
- 9 慢性期:陰性症状か前景となり、社会的な引きこもりか問題になる。
- 再燃:治療中断、断薬なとにより起こることか多い。繰り返すことに残遺症状が重くなる傾向かある。

統合失調症の治療

9 薬物治療

抗精神病薬・抗不安薬

9

抗うつ薬

9 精神療法

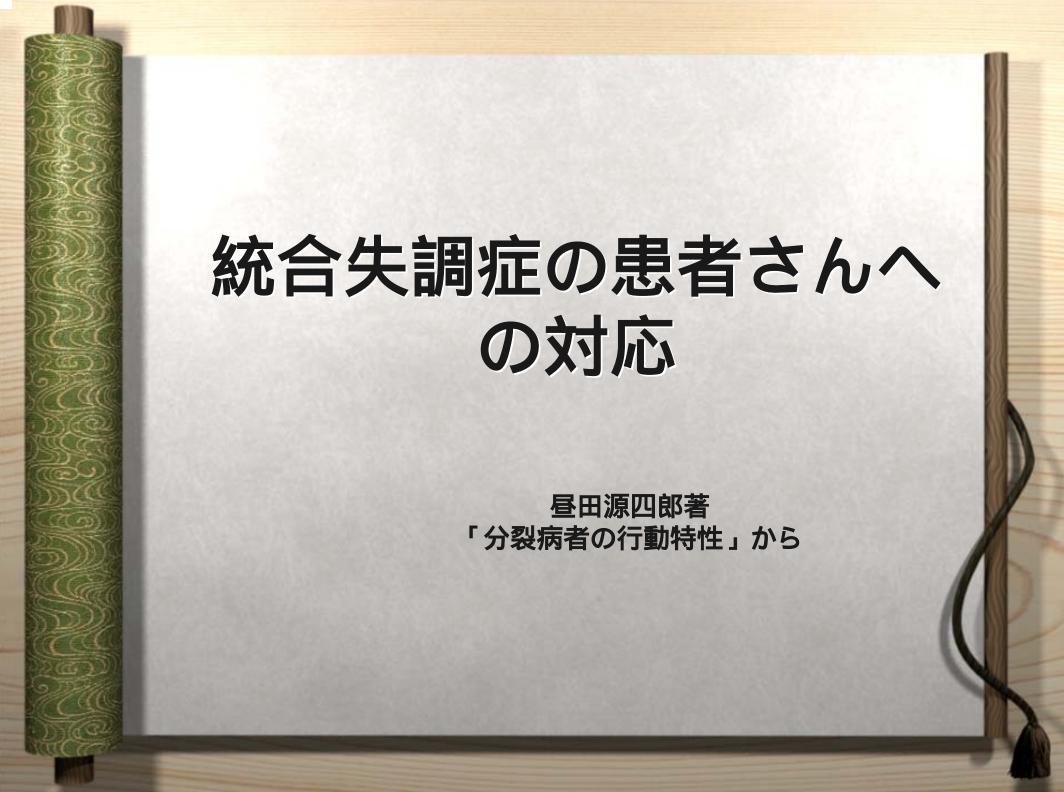
支持的精神療法

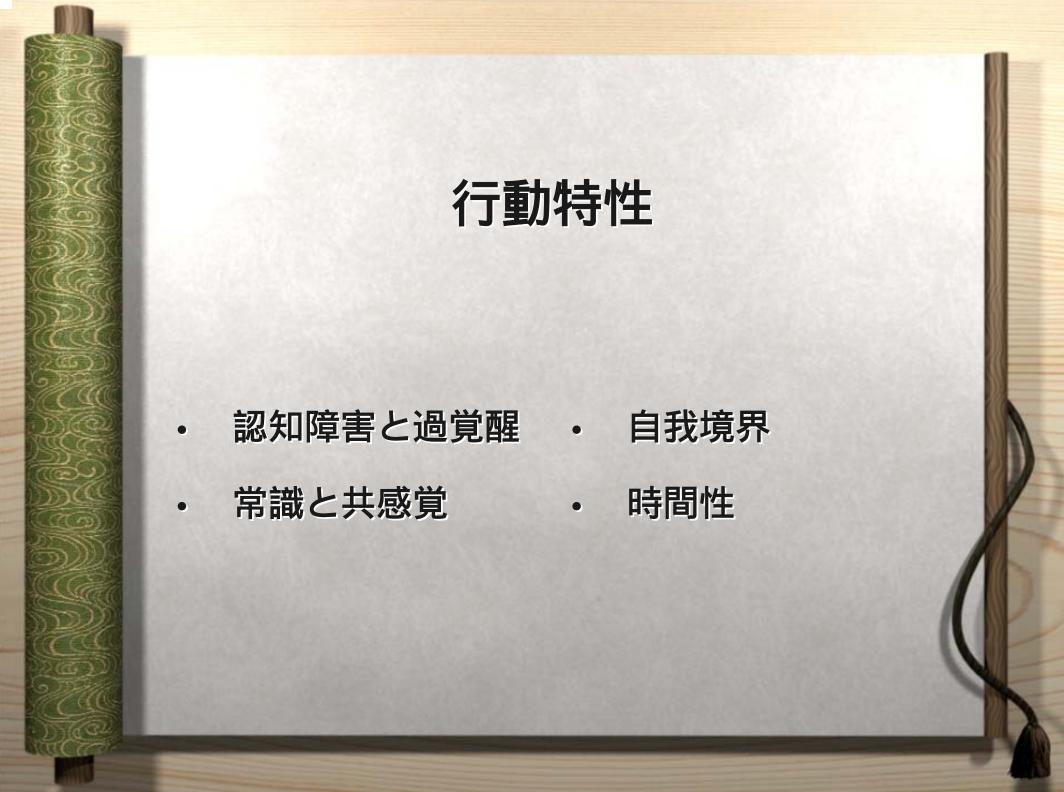
9 行動療法

SSTなと

9 リハヒ リテーション

ティ・ケアなと





認知障害と過覚醒

- 9 一時にたくさん課題に直面すると、混乱してし まう
- 9 受け身的で注意や関心の幅が狭い
- 9 全体の把握が苦手で自分で段取りをつけられない
- 9 話や行動に接ぎ穂がなく唐突である
- 9 あいまいな情況が苦手
- 9 場にふさわしい態度をとれない
- 融通がきかず杓子定規

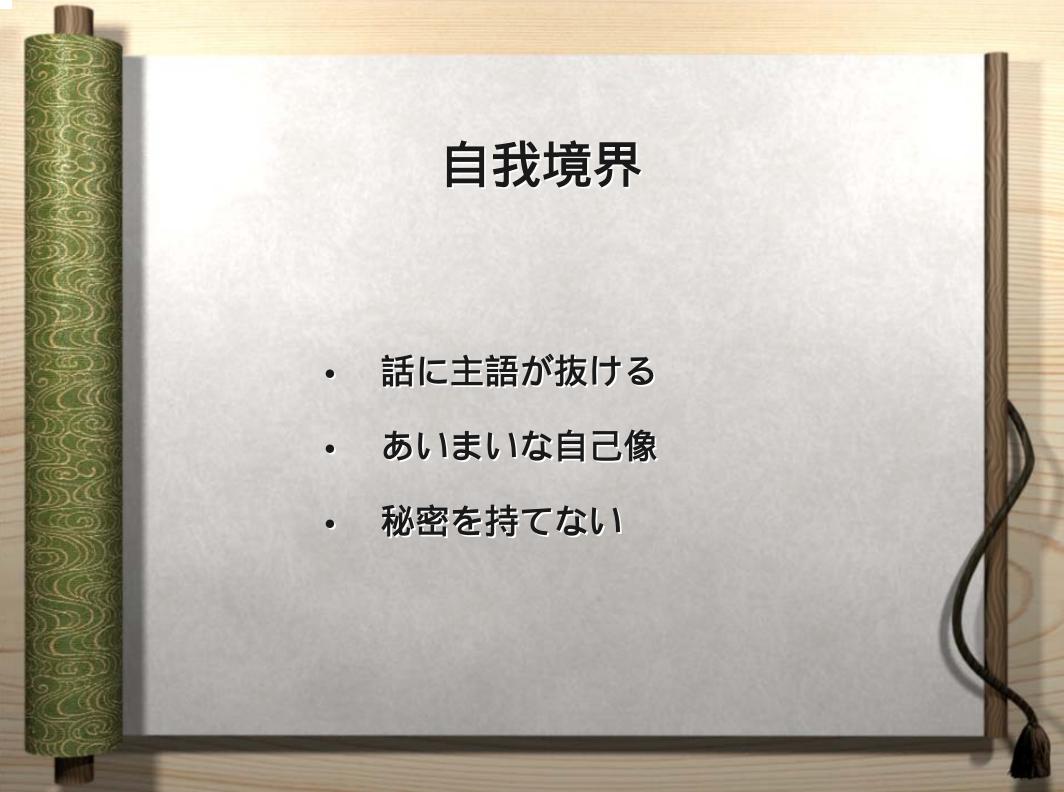
認知障害と過覚醒

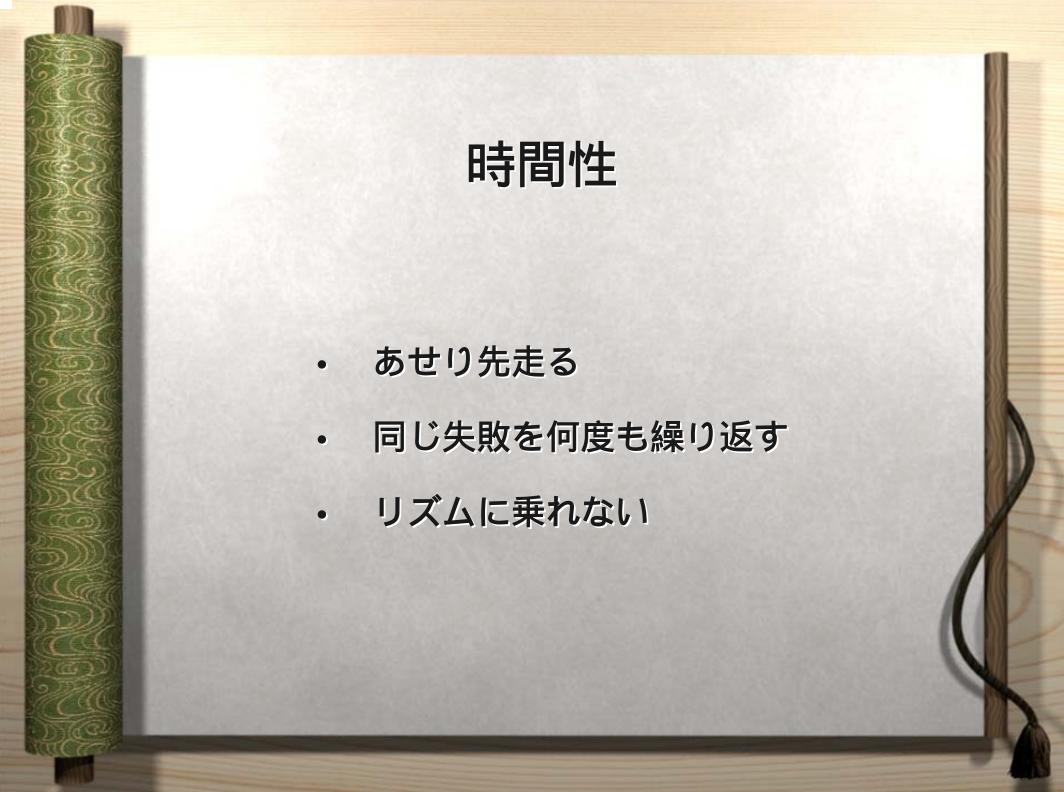
- 9 指示はそのつど一つ一つ具体的に与えなければ ならない
- 9 形式にこだわる
- 9 状況の変化にもろい、特に不意打ちに弱い
- 9 慣れるのに時間がかかる
- 9 容易にくつろがない、常に緊張している
- 9 冗談が通じにくい、堅く生真面目

常識と共感覚

- 9 現実吟味力が弱く 高望みしがち
- 0 世間的・常識的な 行動・思考をとり にくい
- 9 視点の変更が出来ない

- 9 他人の自分に対す る評価には敏感だ が、他人の気持ち には比較的鈍感
- 自分を中心に物事 を考えがち





対応の原則

- ・ 生活や治療の場を、構造 化された明確なものとす る
- ・ 治療の継続性・一貫性を はかる
- 付かず離れずの間合いを 保ち、「表面的」な彼ら の付き合い方を尊重する
- 混乱した状況は整理して やり、いつまでも迷わせ ない
- ・ 指示は具体的に、明確に、 そのつど与える

- ・ 指示は繰り返し与える
- 過去の発病状況を知って おく
- 移行状態には注意する
- 前駆症状の出現に気をつける
- 危機介入と休息入院の活用
- ・ 「様子はみない」のが原 則